

## 視察報告書 神山町（サテライトオフィス）

無所属会派 吉田つとむ 2023.2.8 分

### <概要>

徳島県東部の名西郡神山町は、レンタカーで徳島市から 45 分、徳島空港からは 1 時間強の所要時間となっている。鉄道経由の路線はなく、空港や徳島駅からの交通手段はバスとなっている。移動は、前日視察した同じ徳島県海陽町からそのままレンタカーで行った。

神山町の人口は 2023 年 2 月 1 日現在で 4,827 人、世帯数は 2,368 世帯。S30 年度の人口は 20,502 人、3,772 世帯であったものが上記の数になっているのは、左肩下がりの中にでもある過疎の町になります。

ところが、この傾向とは別に、20 年度に 2 年連続で人口が社会増になっているというのが特徴となっています。人口の自然減を上回るペースで人口が増えるのは大変でしょうが、今後、急速に人口の社会増が更にます要因として、神山高専の開設が、今年の 4 月に控えており、今後 5 年間、毎年生徒と教職者を含めた学校関係者が増加することが必須となっています。



（左）4 月開設予定の神山高専校舎（旧神山中学校の校舎を一部改装利用）

（右）ホテルはウィーク神山（木造、全面総ガラス張り。サテライト宿泊体験ができる）これらの写真も、視察時前に事前周回した時に撮影。

この神山町は、ネット上で有名な町です。そのことは一般の TV ニュースでも知られています。域内に光ファイバーが張り巡らされ、サテライトオフィスがオンラインで本社とつながる環境が作られていることで有名となってきたことで知られていますが、果たして、そうした企業の経営者はその状況をどう見て

いるか、関心を持って訪ねてきました。

今回の視察の特徴は、行政機関に連絡を一切取らず、NPO 法人グリーンバレーを通じて、依頼をしましたが、あらためて、神山町の HP を見ると、その方法が実質的に有効な選択肢でした。しかも、行政機関が行うものと異なり有料です。\*そのルールが詳細に記されていますが、ここではその必要がないので割愛します。



講義風景（講師：隅田徹社長）



前日に撮影した道の駅の販売品

視察は、項目によってメニューが異なり、その設定時間、レクチャー担当者がそれぞれに異なっているのも特徴でした。それだけ、視察の需要があるというものでした。



視察は、○NPO 法人 グリーンバレー 予約

2023年2月8日(水) 神山町 NPO グリーンバレー

集合場所：神山町農村環境改善センター

13:00～14:30 サテライトレクチャー (隅田)

会場：神山町農村環境改善センター

14:45～15:45 サテライトオフィスツアー (後藤)

集合場所：神山町農村環境改善センター

○宿泊施設 ウィーク神山 (移住者が経営) 直接申し込み

## <所感>

この神山町のサテライトオフィス事業、その他の文化事業は、地元の NPO 法人グリーンバレーと、その大南信也理事長の役割、力が大きいと思いますが、今回は、サテライトオフィスを自ら進出させ、さらに神山町で新たな事業を起こしている、隅田 徹氏が講師であることから、NPO 法人グリーンバレーと、その大南信也理事長のことは割愛します。

[2022.10.25 視察報告 清溪セミナー リスト & 報告内容 \(PDF リ](#)

[ンク\)](https://yoshidaben.jp/shousai/gikaikatsudou/sisatsu/document/20221025.html) <https://yoshidaben.jp/shousai/gikaikatsudou/sisatsu/document/20221025.html>

前に、大南信也氏の講演を都心で開催されたセミナーで聴講し、視察報告書を提出していますので、その資料をご覧ください。

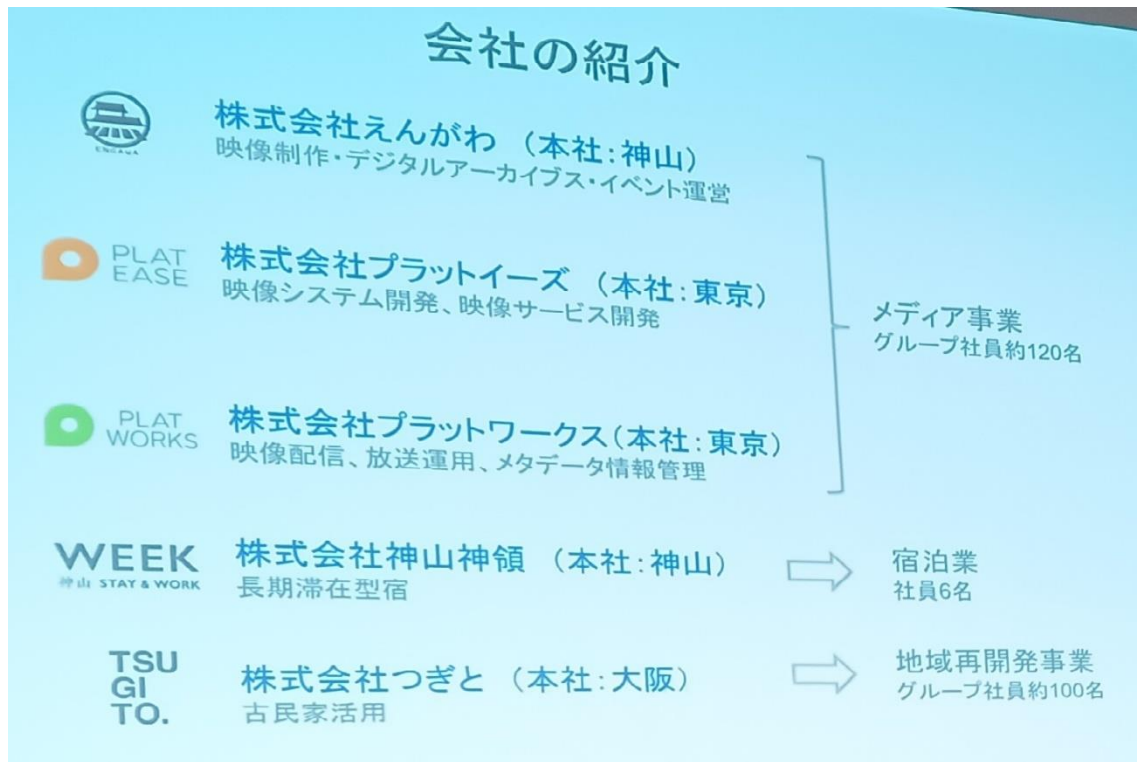
### <講師：隅田 徹氏の講演を聴いて>

隅田 徹氏は、次のような事業家でした。

それは、講義の中で、ご自身が説明されたことでした。

東京に事務所があって、そのサテライトオフィスを開設されたこと。そのサテライトオフィスが斬新な事でも有名になっています。ある意味、この神山町のサテライトオフィスの中で最もそれを象徴する建物になっています。

それが、株式会社 えんがわの「えんがわオフィス」です。現地で見ると、その建物も含めて、4棟の建物が真ん中の駐車場スペースを囲んで建っていました。隅田 徹氏が経営する事業内容では、メディア事業を展開され、グループ社員が120名に達するとのことでした。その中でこの「えんがわオフィス」は、映像制作・デジタルアーカイブ・イベント運営となっていました。



そもそも、隅田徹社長の考えが示されました。

自身は商売人であること、このまちづくりは結果の一つとされていました。

また、自身では規模や利益率より、長く続く商売（三方よし）を目標としているというものでした。

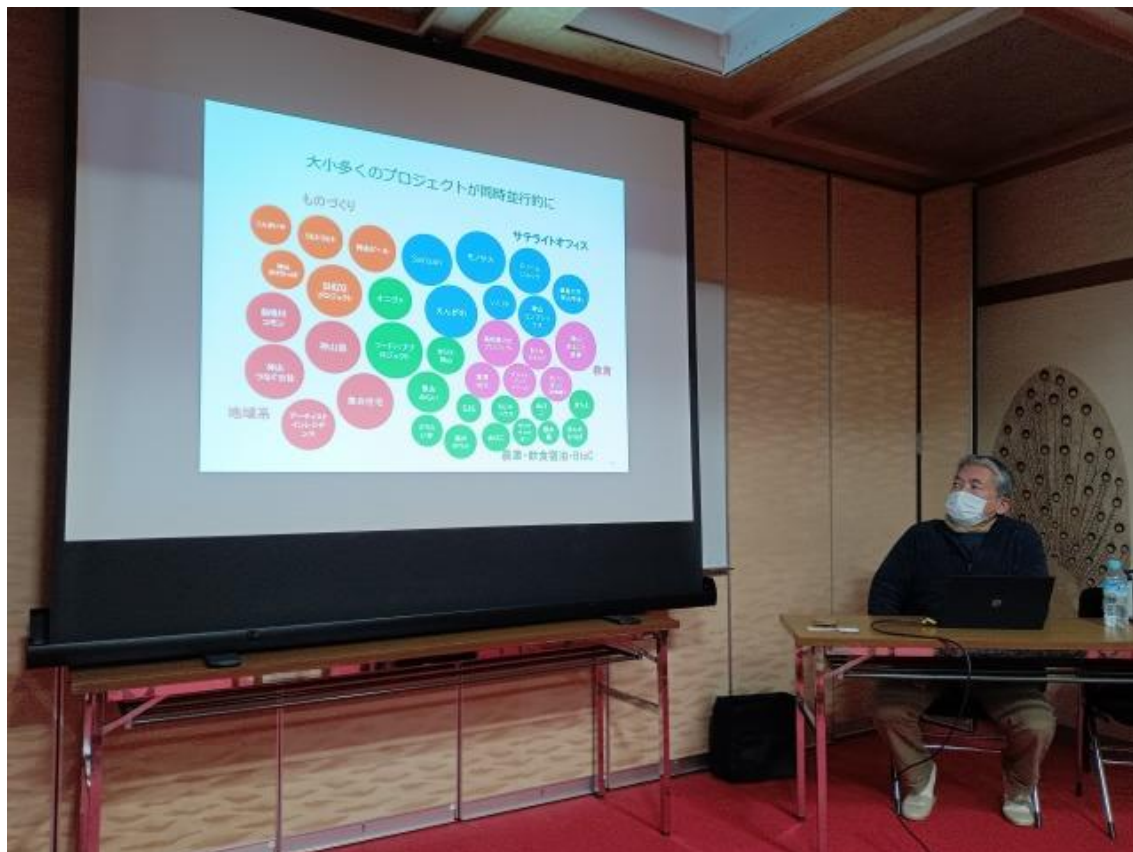
また、この取り組みが地域間格差縮小、継続的な地域経済の発展ができると思っているとのことでした。いわゆる大企業の工場が進出しても、東京と地方の格差が縮小するのではなく、地域資本との格差を縮小することに意義を見出されていました。そのために、自身が東京のタワーマンションから、この神山町の築 200 年の古民家に越してきたというものでした。

神山町はスダチの生産量が日本一だそうです、その売り上げ 10 億円に対して 1000 人が就業していることを指摘され、また、これまでの最大の産業に相当するものは、四国のお遍路であり、その来訪者がもっとも安定成長をしていると事で、その文化的なあり方に感心されていました。

一見逆説的な話法でしたが、それぞれにかかわる人々の収入を見れば一目両全なわけで、ただこの地域には、それら（経済格差）が当たり前のものとして存在してきたものに、このサテライトオフィス参入が事業家や働く人に一隅を照らす行為となっているものと理解しました。

もちろん、同一企業の人材が他所に変わってくるには大きなリスクになっており、この企業にあっても同様で、越してくるにはそれに見合うことが欠かせないというものでした。それを果たしてきたからこそ、現在のサテライトオフィスの存在があるものです。

この神山町の事業では、様々の事業が多様に展開しており、それらが民間事業として行われているので、事業開始がスマートに行われているとのことでした。



隅田徹社長は、自らが行っている事業の詳細は割愛されました。それは、当日の視察が講義と現地視察で構成されていて、後ほど、それらの施設を見て回る日程となっていること、さらに私たちの宿泊先が、隅田徹社長自身が開発されたウイーク神山としていたことで、経営の指針や事業の趣旨に関するものに絞られたものと推測しました。

講義の時間を過ぎても熱心に話され、質問事項があったことで、さらに時間延長となりました。

なお、神山町にサテライトオフィスを出した企業では、最も古いものとして、名刺管理ソフトの sansan がどうなっているかが気になりました。現地で直接調べる機会を得ませんでした。しかし、本年 4 月に開校する、民間の神山まるご

と高等専門学校（丸山高専）の理事長に、sansanの最高経営責任者 寺田親弘氏が就任して活躍されることを現地で知りました。地元の中に親和感とリーダーシップを発揮されていました。



講義終了後、施設玄関で記念撮影

#### <神山町サテライトオフィス現地見学>

サテライトオフィスツアーは、別途、後藤様からご案内いただきました。



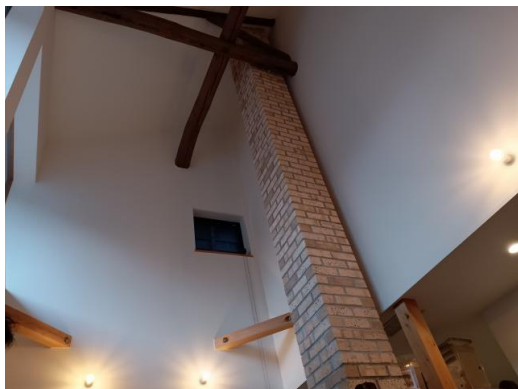
えんがわオフィスのメイン、古民家を改装して魅力ある建物としている。駐

車場の後方も同社のオフィスであり、それぞれに古民家を改修している。全部で4棟あり、その内の後方の1棟は蔵を利用し、片面がガラス張りのオフィスとしている。

結果論ですが、この大胆な構想でえんがわオフィスを作り上げたことが、隅田 徹氏の名声を上げ、その後の事業展開につながったと思います。



古民家を改修したサテライトオフィスを巡る



都会のコーヒー店もありました。



近くには、食事ができる店がありました。古民家オフィスだけでは、そこで働く人の生活が成り立ちません。ましてや、高収益の企業と人が移住してきたわけですので、それに伴う食事の店で登場しても不思議でなく、より、充実した店店が進出して、さらに魅力ある町となっていくのでしょう。



ただ1組の宿泊としている。





隅田徹氏が設置、現在は、移住者の経営者が運営しているウイーク神山。



フロント&食堂、週末の夜は宿泊者の憩いの場になるという。

ウイーク神山は、一般のホテルとかなり違っていています。通常のサービスを求める人には、ある種がっかりした面があるかも知れませんが、ビジネスパーソンには、このウイーク神山を好きになる人があるでしょう。あるいは、厳しい時間を過ごした元ビジネスパーソンには、一度訪れたいホテルと感ずるものでした。



神山バレー サテライトコンプレックスを見学。ウイーク神山の前の建物。



## 神山バレー サテライトコンプレックスの内部を見学

神山バレー サテライトコンプレックスは、短期でサテライトオフィスを使うことができるというものでした。都市部で見かけるコワーキングスペースの走りと言えるものでしょう。使用時間がフリーとされているので、夜まで車で仕事に来ている人がいました。逆に、朝の時間は車が1台も無いことから、働く人の行動を伺えました。



徳島県神山町にある「ウイーク神山」に宿泊、前面のガラス越しに溪流、はかどる仕事2023年2月8日



徳島県神山町にある「ウイーク神山」に宿泊、前面のガラス越しに溪流、はかどる仕事2023年2月8日



徳島県神山町にある「ウイーク神山」に宿泊、前面のガラス越しに溪流、はかどる仕事2023年2月8日

宿泊先のこのウイーク神山は、「えんがわオフィス」の隅田 徹氏が建設したもので、斬新なデザインと室内からの眺望が優れています。部屋数は1桁以内ですが、宿泊をウイークで取り、ここをサテライトとして仕事をできることを売りにしている。自分が1泊で終えたことは残念でした。宿泊者が時間無制限

で話せるスペースも確保されています。また、別棟でフロント&食堂がありますが、そこは週末には夜も営業しているということでしたが、視察ゆえ、それらの日を外しました。

ただし、それは建設者の意図に反したスケジュール設定とも思え、結果的ではありますが、少々残念なことでした。